

令和4年度 学校教育自己診断

令和5年2月

吹田市立第二中学校

校長 酒井 睦美

余寒の候、保護者の皆様方には益々ご健勝のこととお慶び申し上げます。

平素より本校教育活動にご理解、ご協力をいただき厚くお礼申し上げます。12月に実施いたしました学校教育自己診断（アンケート）の集計結果をまとめました。327名（80％）の保護者の方からご回答いただきました。保護者の皆様には、ご多用の中ご協力いただきありがとうございます。

ここでは、結果の概要ならびに来年度の取組みについて、ご説明をさせていただきますと思います。

◇ 生徒アンケート結果

生徒アンケートより

肯定的評価の上位項目は

- ・「先生は努力したことを認めてくれる。」（93％）
- ・「学校行事は楽しい。」（92％）
- ・「人権の大切さを学ぶ機会が多い。」（92％）
- ・「授業を工夫している先生が多い。」（91％）
- ・「人に会ったとき、あいさつができています。」（91％）
- ・「先生はよく話を聞いてくれる。」（90％）
- ・「通知票の成績の付け方は納得できる。」（90％）
- ・「地震や火事が起こったときの対応が知らされている。」（90％）

肯定的評価の下位項目は

- ・「実験・観察・実習の時間がたくさんある。」（57％）
- ・「生徒会・委員会活動に積極的に参加している。」（62％）
- ・「進路の情報提供がある。」（67％）

全25項目のうち18項目で肯定的評価が8割以上、4項目が7割台、3項目が7割未満となりました。

◇ 保護者アンケート結果

保護者アンケートより

肯定的評価の上位項目は、

- ・「学校は地震や台風時の行動マニュアルが徹底している。」（90%）
- ・「子供に関するプライバシーが守られている。」（88%）
- ・「子どもは学校行事に積極的に参加している。」（88%）
- ・「学校は生命の尊重や社会のルールを育てようとしている。」（86%）
- ・「学校は教育活動において、人権を尊重して指導している。」（86%）
- ・「学校が保護者に出す文書・事務連絡は適切である。」（86%）

肯定的評価の下位5項目は、

- ・「学校は授業を参観する機会をよく設けている。」（34%）
- ・「子どもは授業が楽しくわかりやすいと言っている。」（62%）

全26項目のうち14項目で肯定的評価が8割以上、10項目が7割台、2項目が7割未満となりました。

本校では、皆様方から頂戴しましたご意見を真摯に受け止め、子どもたちの笑顔があふれ、保護者や地域の方から信頼される学校を目指して取り組みを進めて参ります。新型コロナウイルス感染症の影響で実施していなかった授業参観について、来年度は基本的な感染防止対策を徹底し実施する予定となっております。教職員一同、力をあわせて参りますので、ご理解、ご支援いただきますようお願い申し上げます。

◇ 課題に対する具体的な取組

・いじめや暴力のない学校づくり

生徒一人ひとりの尊厳が守られている安心・安全な学校生活の実現といじめを未然に防止するため、人権についての意識を高め、日常的に生徒の人間関係を把握するとともに、生徒たちが互いに繋がりを深めあう活動や行事などに計画的・継続的に取り組みます。また、教職員と関係諸機関がチームを組み、組織的に指導するとともに、スクールカウンセラーやスクールソーシャルワーカーと連携し、生徒たちのケアを第一に考え、きめ細かい指導を行っていきます。「すいたGRE・ENスクールプロジェクト」のもと、いじめ予防授業の実施により、いじめを未然に防止するための学校風土づくりにも取り組みます。

・人権教育の推進

総合・道徳・特別活動および各教科の連携をさらに図るとともに、第二中学校ブロックの小中9年間を通した一人一人のキャリア形成と自己実現を行うためキャリアパスポートを活用します。また、さまざまな立場の人々との交流などを通して「多様で幅広い他者」と積極的に人間関係を持ち、自尊感情・共生意識・他者への思いやりの心を育むことができる学習に取り組みます。

・魅力ある授業づくり

基礎的・基本的な学習内容の確実な定着と主体的に学ぶ姿勢の育成をめざします。英語、数学においては習熟度別少人数指導の充実を図り、きめの細かい指導を充実させていきます。自分の考えをまとめ発表し、交流していく「学びあい」を活かして、深い学びにつながる授業を展開するための授業研究に取り組むなど、さらなる授業改善に注力します。また、実験・観察・実習等の時間を増やし、実物に触れたり、映像を見せたりすることで興味・感心を引き出すとともに、一人一台端末を活用し自ら課題を発見し解決していくことに取り組む授業のあり方を追求します。

・《学びあう・支えあう・思いやりのある集団に》

～伝える力を伸ばそう～

学校スローガンより

子どもたちが相互に繋がりを深めていけるような活動、取組み、行事などを通して、集団としての一体感・充実感を得られる経験を積み上げることを通して、子どもたちの“共に生きる力”“伝える力～コミュニケーション力”の育成をめざします。

また、生徒会活動の一層の活生化を図り、子どもたちが自らの義務を果たしながら意見を述べ、学校生活を改善していけるよう支援していきます。

・教育環境の充実

吹田市では文部科学省が進めるGIGAスクール構想の実現のため生徒1人1台のWindowsタブレットPCが配備され、普通教室のLANが整備されました。現在、特別教室等での使用に向けて校内のLAN整備を進めています。また、令和5年度には管理棟・教室棟、令和6年度には特別棟の大規模改修工事を予定しております。

・学校情報の発信

学校だより、学年だより、学級通信、ホームページ等による情報発信を継続するとともに、メール配信システムを利用して保護者の皆様方に配付時期等の連絡をします。3学期からは「さくら連絡網」を活用することで、インターネットを通じて朝の欠席等の連絡が可能となりました。生徒たちの学校生活の様子については、二中ブログ(校長日記)等で今後もお知らせしていきます。

学校教育自己診断 経年比較

《生徒アンケートより》

肯定的評価の上位項目	R4	R3	R2
先生は努力したことを認めてくれる。	93%	86%	87%
学校行事は楽しい。	92%	85%	83%
人権の大切さを学ぶ機会が多い。	92%	86%	85%
授業を工夫している先生が多い。	91%	83%	84%
人に会ったとき、あいさつができています。	91%	87%	90%
先生はよく話を聞いてくれる。	90%	87%	89%
通知票の成績の付け方は納得できる。	90%	90%	84%
地震や火事が起こったときの対応が知らされている。	90%	88%	93%

肯定的評価の下位項目	R4	R3	R2
実験・観察・実習の時間がたくさんある。	57%	44%	79%
生徒会・委員会活動には積極的に参加している。	62%	56%	64%
進路の情報提供がある。	67%	65%	61%

《保護者アンケートより》

肯定的評価の上位項目	R4	R3	R2
学校は地震や台風時の行動マニュアルが徹底している。	90%	89%	87%
子供に関するプライバシーが守られている。	88%	87%	87%
子どもは学校行事に積極的に参加している。	88%	88%	85%
学校は生命の尊重や社会のルールを育てようとしている。	86%	89%	86%
学校は教育活動において、人権を尊重して指導している。	86%	89%	84%
学校が保護者に出す文書・事務連絡は適切である。	86%	85%	83%

肯定的評価の下位項目	R4	R3	R2
学校は授業を参観する機会をよく設けている。	34%	36%	50%
子どもは授業が楽しくわかりやすいと言っている。	62%	71%	64%